

季刊

うさぎ亭

春の増刊号



たふん★うさぎ

こんにちは

寒い冬も終わりぽかぽかの春がやってきました。

気分も朗らかなこの季節、桜の花も綺麗に咲いてますね。

今回は増刊号といたしまして特別な内容でお送りいたします。

『たったひとつのありがとう』シリーズのプロローグとして『あめのひ』を収録いたします。

この物語はこれから始まるお話のプロローグとしての役割と『うさぎ語り』の形付けを目的に描きました。

うさぎさんたちが語るお話・・・それは話してくれるうさぎさんたちの宝物、とっても大切な宝物なのです。

そのお話の始まりのお話。

今回は黒いうさぎさんと紫色のかえるさんのお話ですが、これから先色々なうさぎさんたちのお話が聞けると思います。

それではページをめくってみてください。

そして本日も皆様にとって良い一日でありますように。

たぶん☆うさぎ

それでははじまります

あめのひ

～たったひとつのありがとうシリーズ～

たぶん☆うさぎ



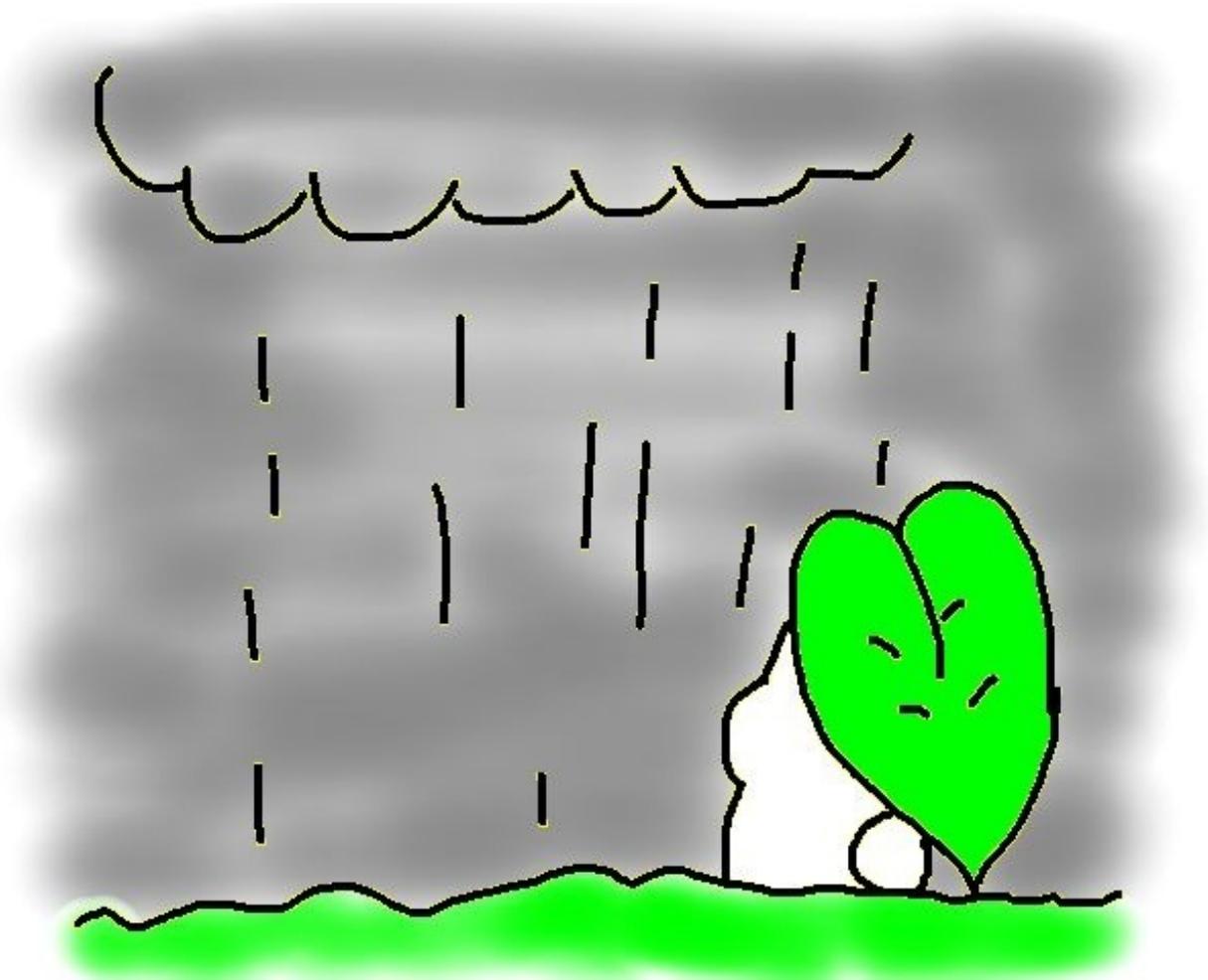
うさぎさんたちの草原に雨が降ってきました

大きな雨粒が勢い良く空から落ちてきます

今日は雨の一日かな？

うさぎさんたちは

外へ出られず雨宿り



今日は雨雲は去らないかな？

黒い雲を見上げながら

草原のうさぎさんたちは

ひっそりとした一日を過ごします



小さな木のくぼみの中で
一日を過ごすうさぎさんや
岩場の影で雨宿りをするうさぎさんもいます
ひっそりと・ひっそりと
晴れの空を願いながら



うさぎの神様の像も

雨を浴びて

その笑顔はちょっと寂しそうです

今日は一人ぼっちのうさぎの神様

しずかな一日



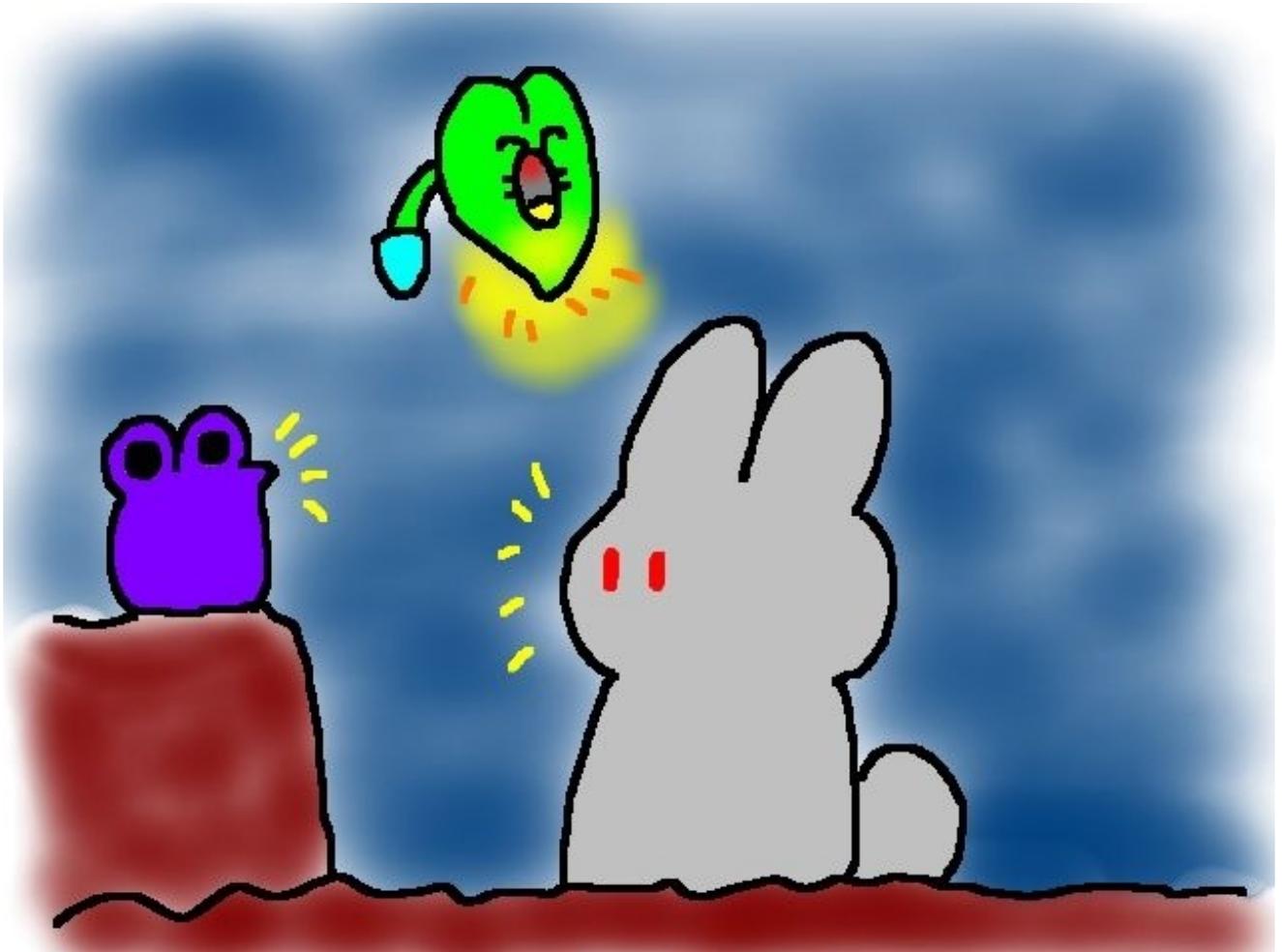
そんな雨の日に

どこからか笑い声が聞こえます

とても楽しそうな笑い声

その声は

岩場の洞窟から聞こえてきます



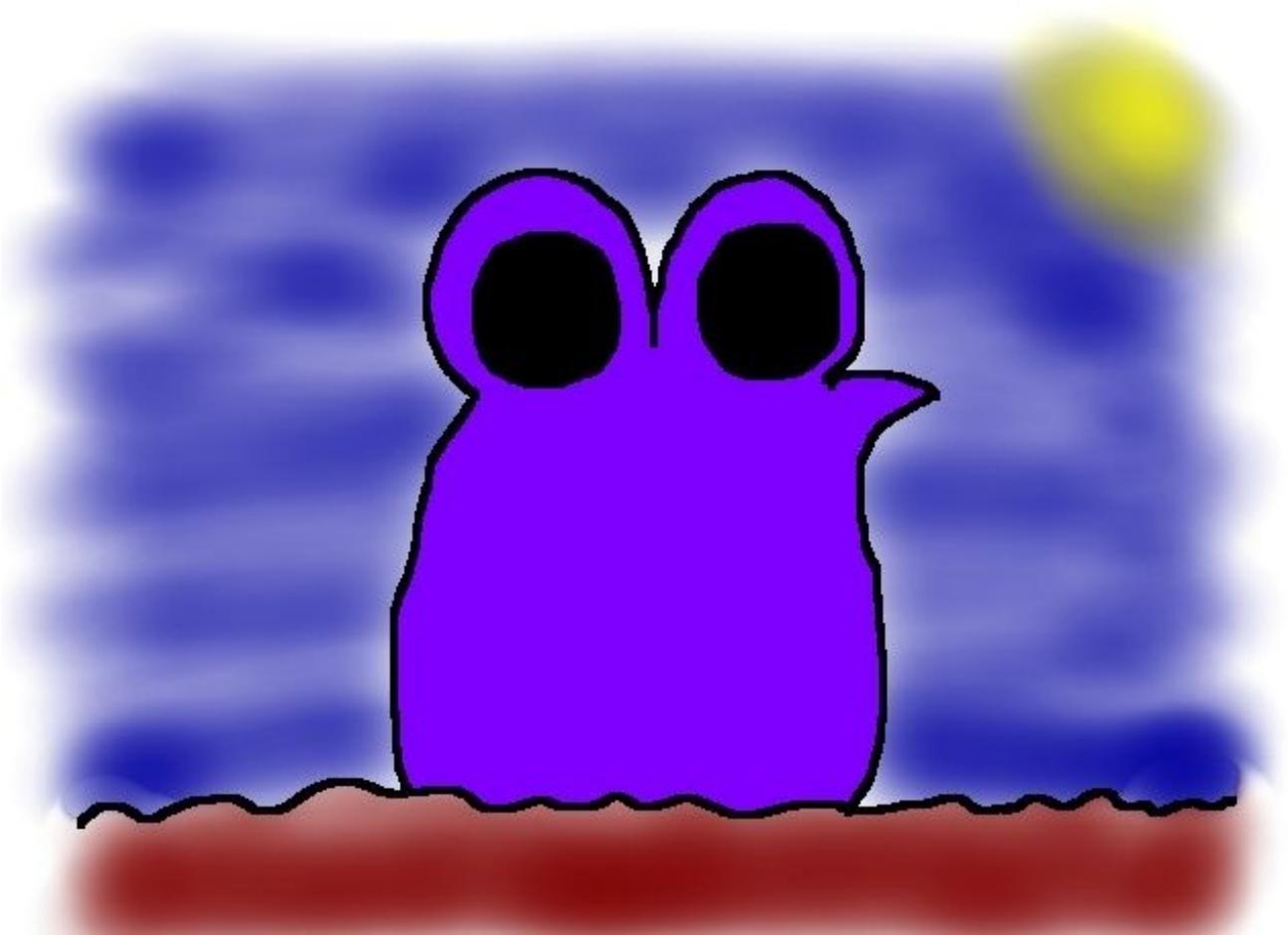
洞窟の中

蛍のわずかな光りの中

その中で楽しそうに話している

紫色のかえるさんと

黒いうさぎさんがいました



紫色のかえるさんは

雨の日になると

黒いうさぎさんに

お話をしにきてくれるのです

それはとっても嬉しいことでした



雨の日も

黒いうさぎさんが退屈しないように

お話に来てくれるかえるさん

小さなお友達が

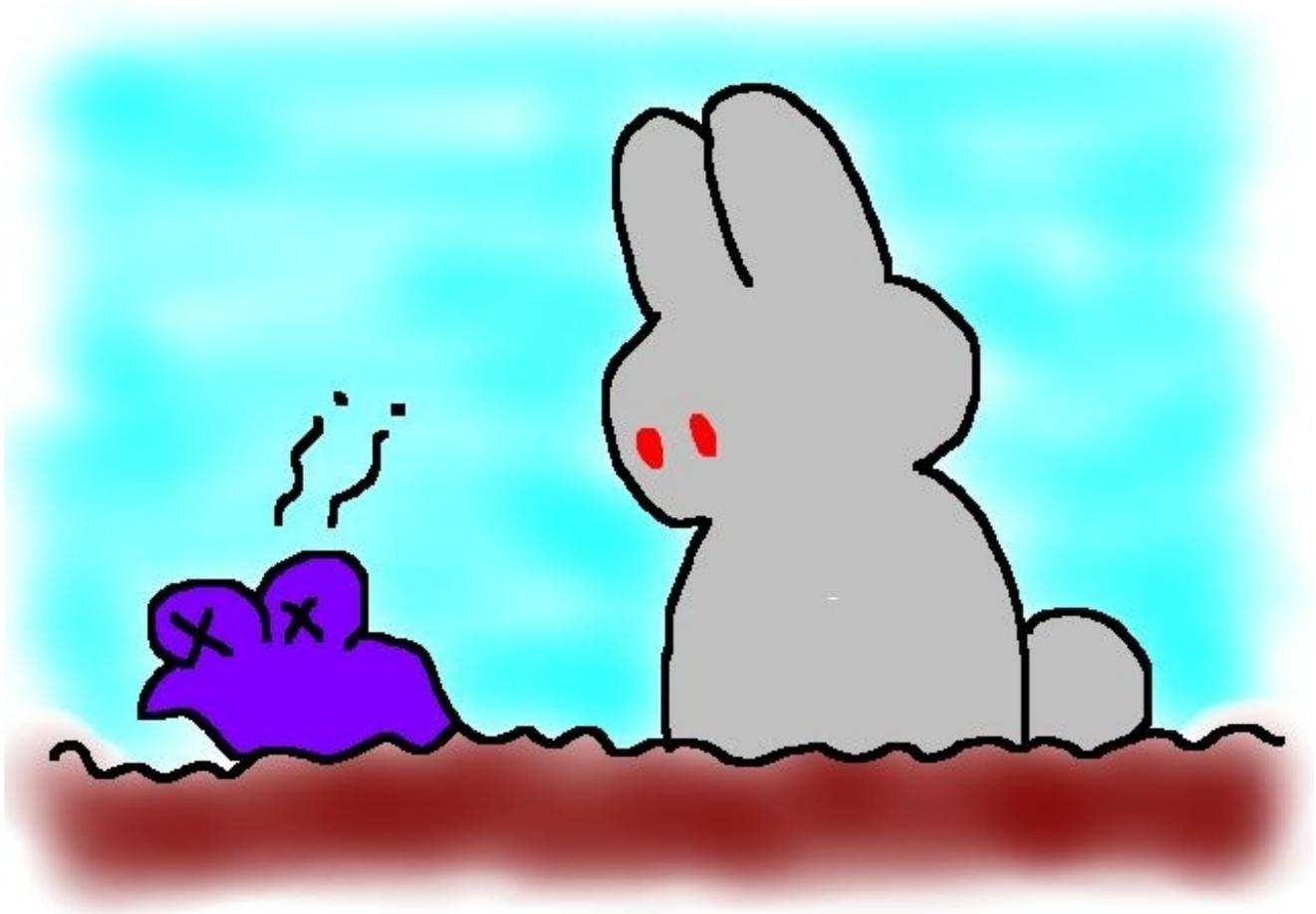
こうやって来てくれるようになったのは

.....



ある日

旅が大好きな紫色のかえるさんは
夏のあまりにも強いお日様の光りに
カラカラに干からびそうになっていました



かんかん照りのお日様のもと

黒いうさぎさんは

干からびたかえるさんを見つけました

この日照りで

カラカラの大ピンチなかえるさんを



黒いうさぎさんは

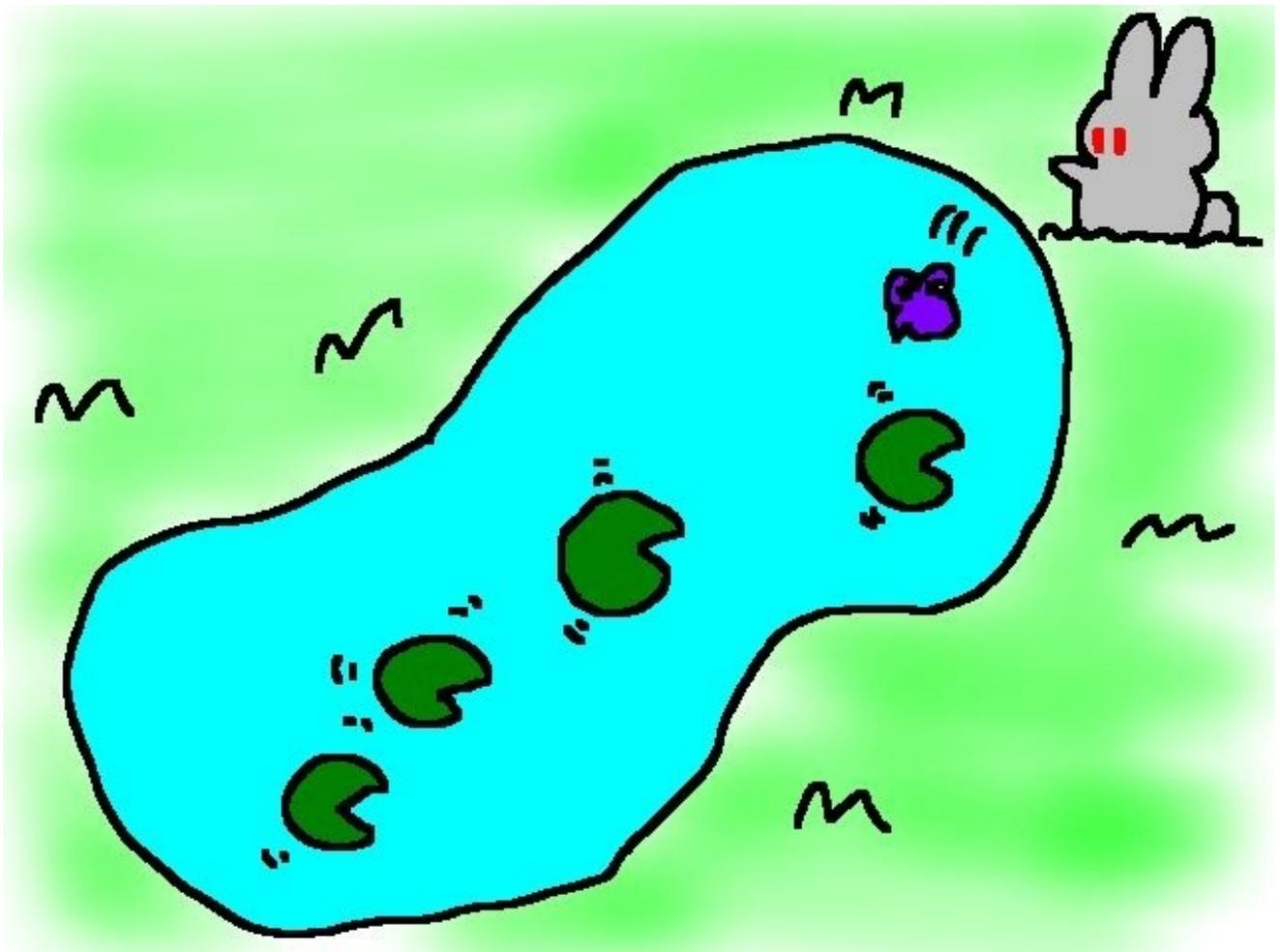
干からびたかえるさんを

拾い上げて

急いでどこかへ連れて行きました

いそいで！

早くしないと手遅れになっちゃいます



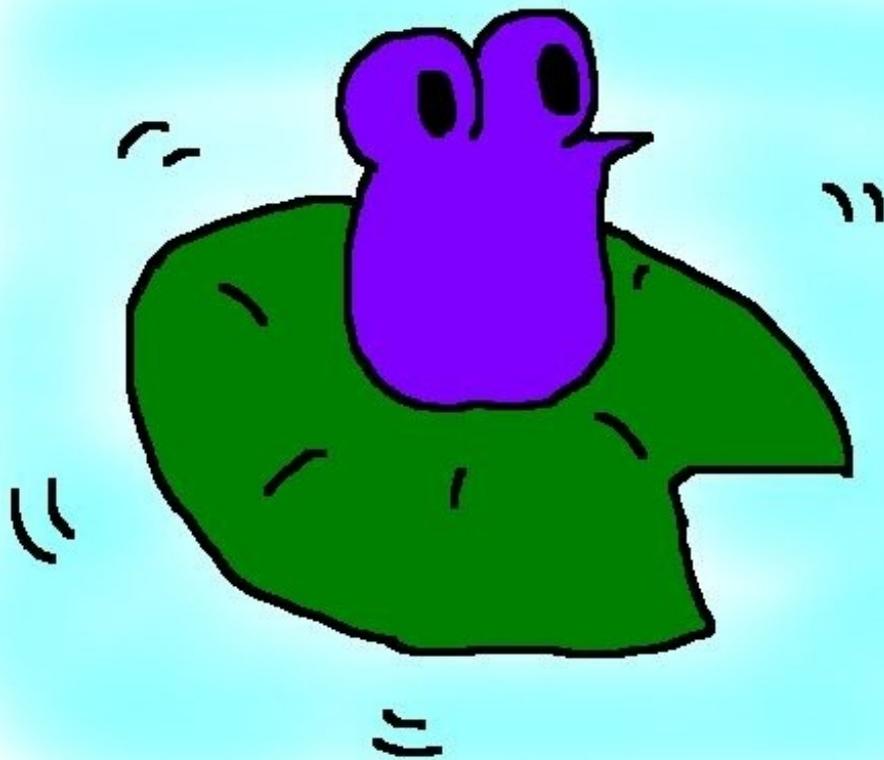
そして

池にドボン

池の中に消えてゆくかえるさん

やがて

池の中からぶくぶくと泡が浮かんできました



しばらくすると

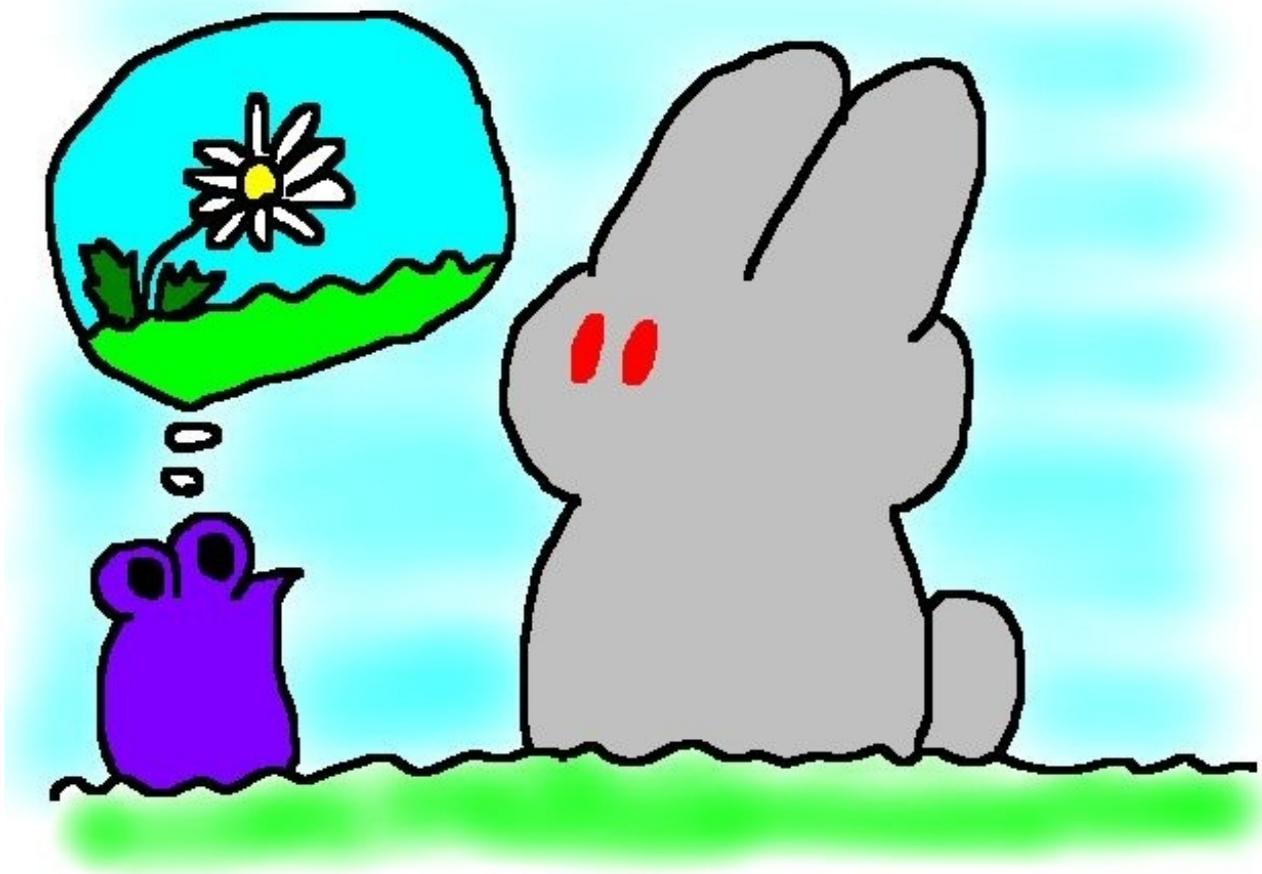
元に戻ったかえるさんが浮かんできました

かえるさんは元気な声で

ありがとううさぎさん

旅の油断がとんだ災難になってしまったと

黒いうさぎさんに言いました



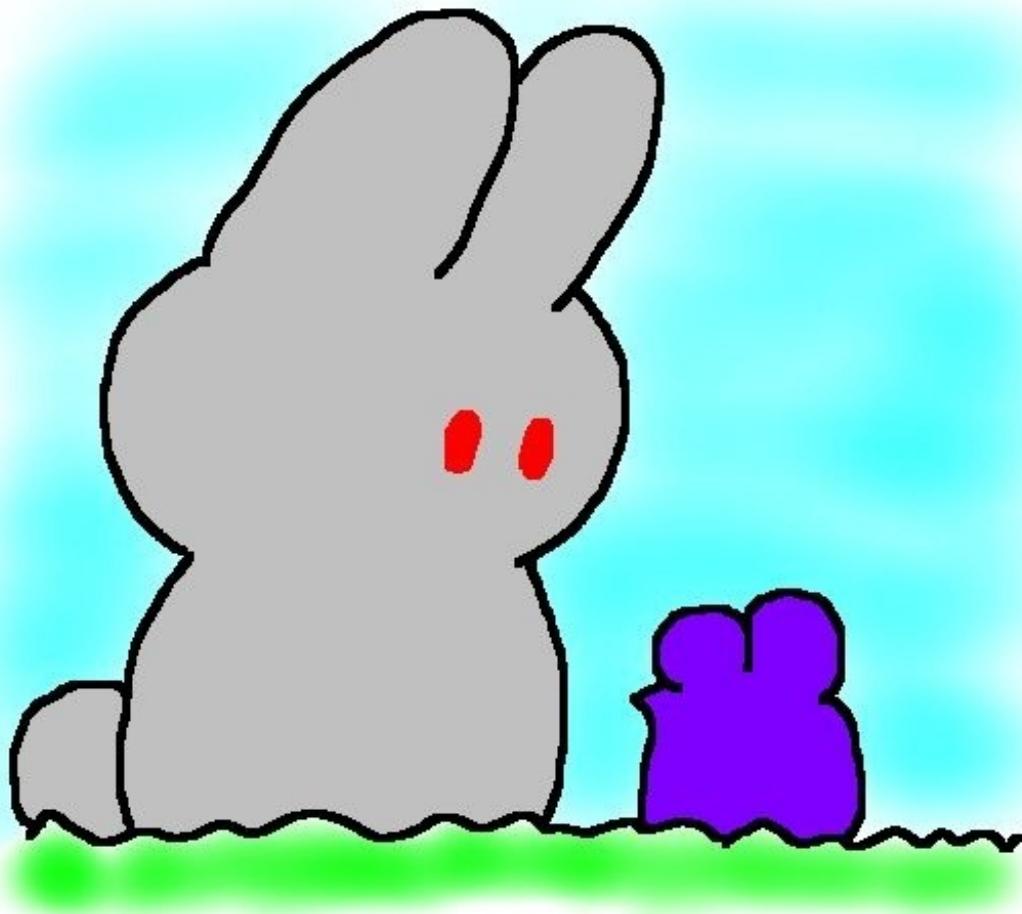
そしてかえるさんは

黒いうさぎさんにお礼も兼ねて

いろいろな旅の話をしてくれました

そこでみつけた嬉しいことや楽しいことの

お話を



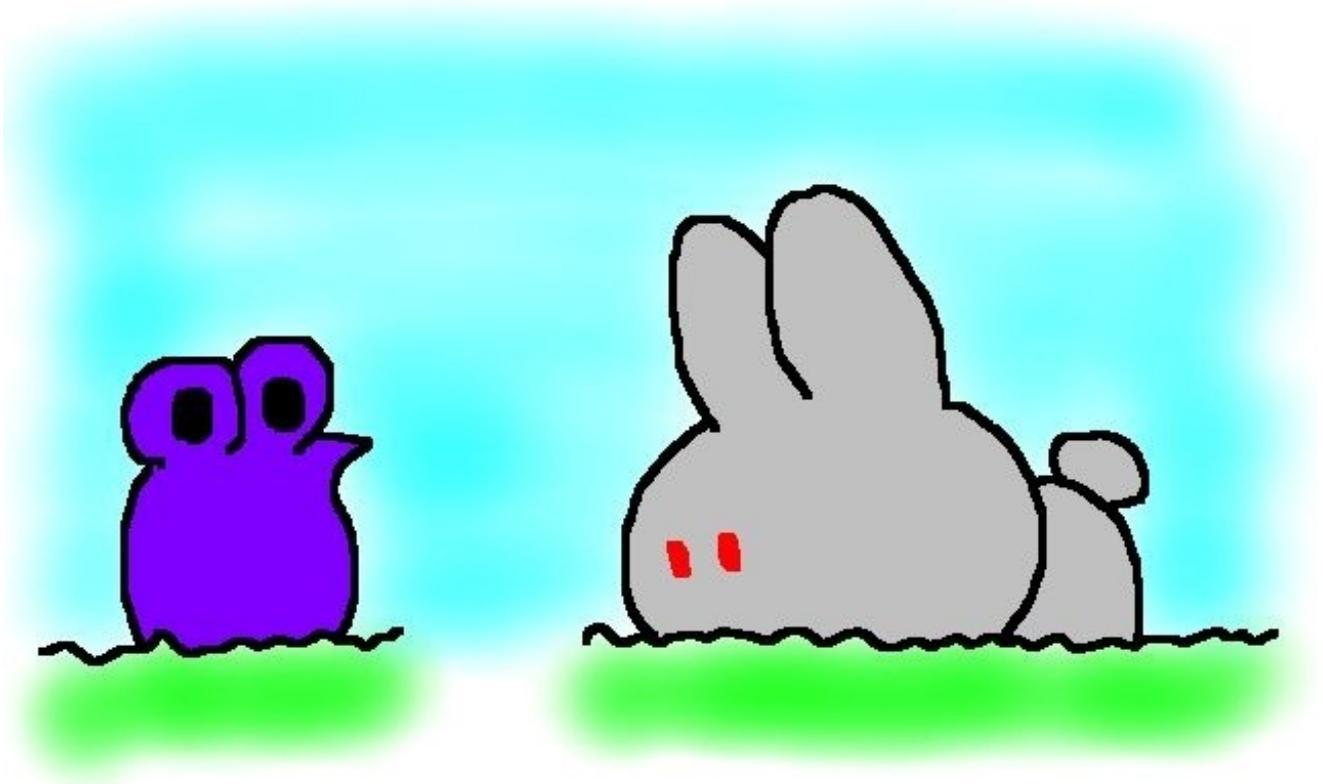
黒いうさぎさんは

このかえるさんのお話を

とても楽しく聞きました

そして

そのとても新鮮なお話をもっともっと聞きたくなりました



仲良しになったかえるさんと黒いうさぎさん

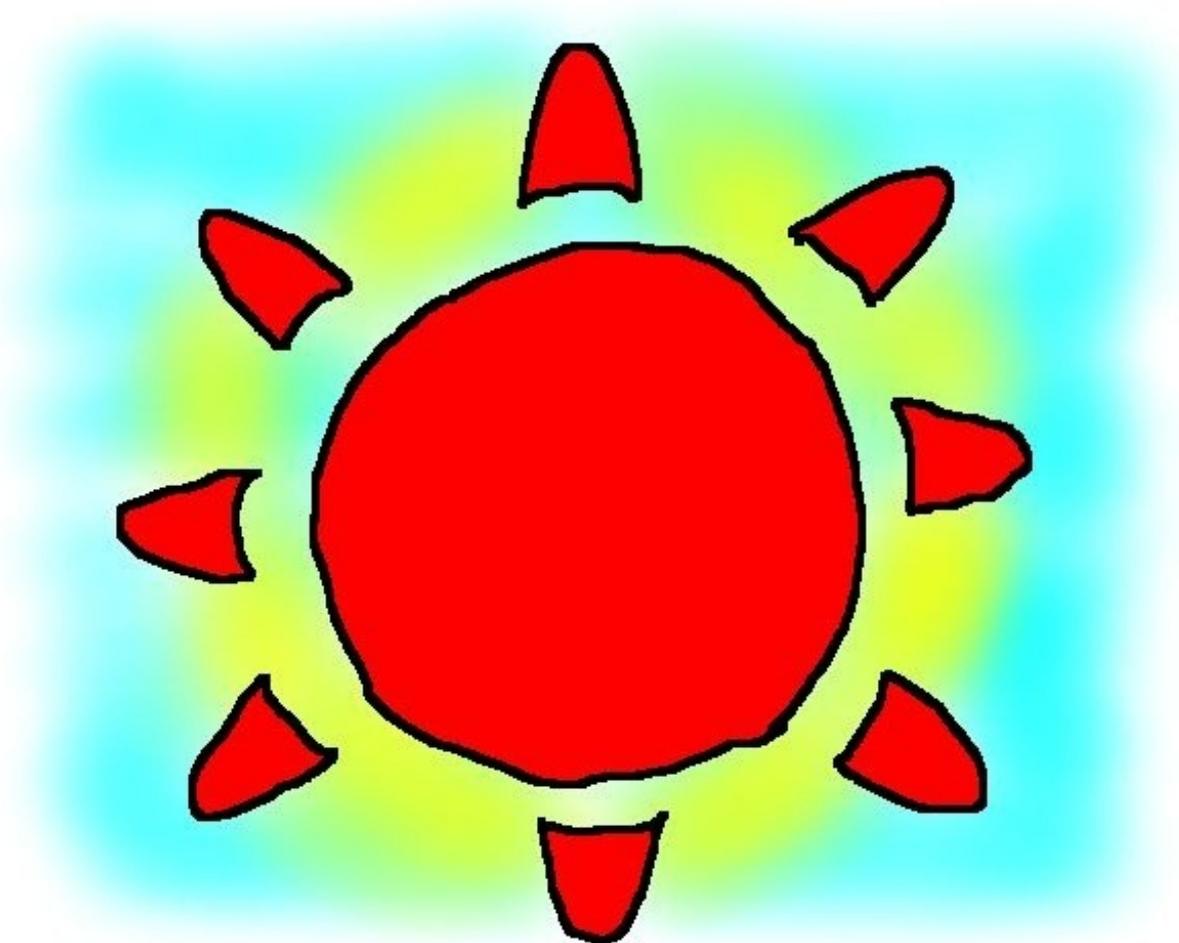
たまに退屈している

黒いうさぎさんの前には

色々な旅の話聞かせてくれるようになりました

黒いうさぎさんも

それをとても楽しみにしていました



雨があがりました



晴れ行く空

青がどんどん広がっていきます

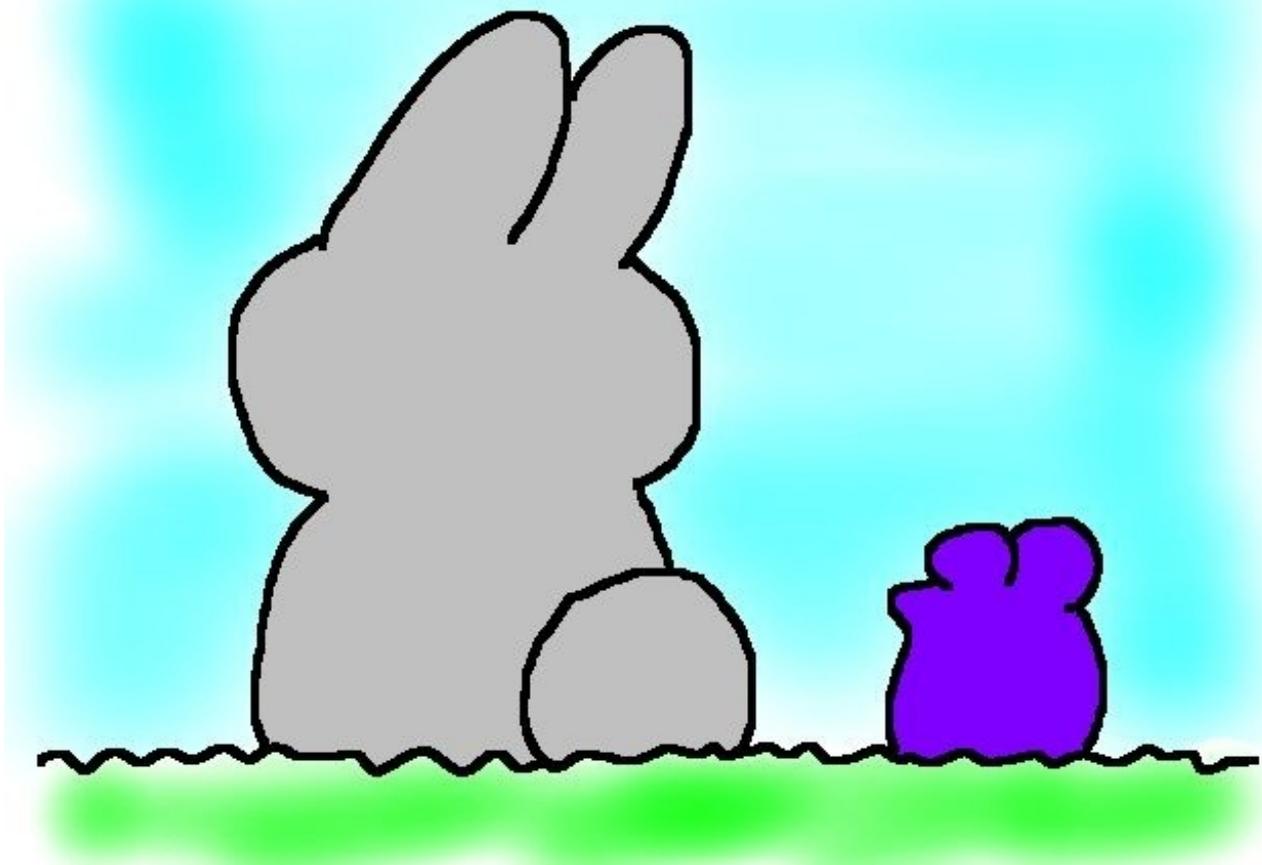
綺麗なお日様も

その青を綺麗に照らし始めました

草原にいい天気がやってきました

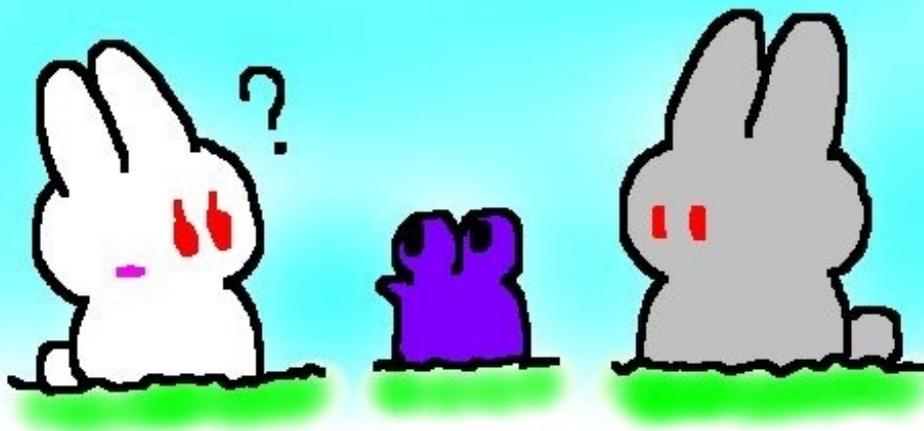
さっそく

二人は外に出てみました



この空を見上げながら
黒いうさぎさんは思いました
いつかはかえるさんに
お話を聞かせてあげようと
ここで起きた
宝物のようなお話を

おしまい)



うれしいこと

たのしいこと

それはきっと

とってもとっても

大切な宝物

皆様、最後までお読み頂きありがとうございました。

ここで一つ皆様に??がつくことがあると思います。

『黒いうさぎさん』・・・グレーですよ。

今回はそれについて解説します。

曇り空、皆さんはそれを見てどう思いますか？大体の方はマイナスイメージを持っているのではないのでしょうか？私も以前はそうでした。

気分はネガティブになりがちですよ。

そこで私は違うところから見ることにしました。

グレーは明るい黒なり・・・グレーは優しい白なり。黒は闇・白はまぶしすぎる、その中間の色がグレー。

私はそうやって見ることにしました。すると曇り空は優しいベールから透かすお日様のひかりに見えてきました。

何事も考え方、見方次第で良くも悪くもなる、そう思ってグレーを見ることにしました。

それと絵に描いてしまうと黒はべったりで線が死んでしまうからってのもあるのですけどね。

そんなわけで『黒いうさぎさん』はグレーで表現させてもらっています。

ブログの方でも書いたことですが、コンピューターの人工知能（AI）はどんどん進歩してやがては心を痛めた方たちの治療もできるようになるかもしれません。

人工知能と対話することで徐々に心が癒されていく・・・そんな未来もすぐそこまで来ているかもしれません。

心の癒しとはいろいろなものをきっかけにできますからね。

私もブログの中やこうやって絵本を描いたりして少しでも心の癒しにつながる方がいいなあと思っています。

機械が紡ぐことのできない人だけが紡ぎことのできるもの、そんなものができるといいなあ～と思っている次第です。

今回は初の『絵本』形式で描いてみましたがいかがだったでしょうか？

これから始まる『うさぎ語り』のお話たち、ぜひよろしく願いいたします。

それでは皆様、明日も皆様にとって良い一日でありますように。